

令和 3 年度 施策評価表

第 6 章『自然と調和する住みよいまち』

まちづくりの目標	まちなかにみどりがあふれ、そこに人々が集い、思わず歩きたくなる、自然と調和した安全で住みよいまちをめざします。
分野別計画・指針	所沢市都市計画マスタープラン、所沢市ひと・まち・みどりの景観計画、所沢市中心市街地街並み整備計画、所沢市住生活基本計画、所沢駅周辺まちづくり基本構想、改定所沢市建築物耐震改修促進計画、所沢市橋梁長寿命化修繕計画、所沢市水道事業長期構想、所沢市水道事業基本計画、所沢市水道事業中期経営計画、所沢市下水道事業経営計画、市街化調整区域下水道整備基本計画、所沢市生活排水処理基本計画

第1節	土地利用
関係所属	都市計画課、市街地整備課、企画総務課

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「土地利用」 地域の特性を活かし自然と調和した街づくり(土地利用)が進められている	467	18.4%	252	9.9%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	土地利用に関する施策の満足度	%	-	→	18.4	-	65

事業目標の達成状況

基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進	土地利用転換の達成地区数	地区	0	2	1	×	2
6-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進	とことこ景観資源の指定件数	件	196	202	215	○	215
6-1-3 基地返還と跡地利用の促進	基地返還に関する要望実施件数	件	2	3	2	×	3

節の基本方針への取り組み状況

- ◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
 - 旧暫定逆線引き地区のうち、北中地区・上山口地区・牛沼地区について、用途地域の廃止に向けた都市計画手続きを行った(令和3年4月1日告示)。
 - 土地区画整理事業を進めている北秋津・上安松地区、若松町地区については、地権者の組合による道路や調整池などの公共施設の整備に対する支援などを行った。
 - 土地区画整理事業を実施して市街化区域編入を目指す下安松東地区、上安松・下安松西地区については、関係機関との協議や準備会による調査・測量に対する支援などを行った。
 - 土地利用推進エリアのうち、優先的に進める三ヶ島工業団地周辺地区について、関係機関との協議や地権者の準備組合による測量・調査への支援、環境影響評価(調査・予測・これらに基づく評価の実施)、上藤沢・林・宮寺間新設道路(2工区)の用地取得などを行った。また、関越自動車道所沢IC周辺地区については、説明会や地権者への意向調査を行った。
 - 景観施策については、「ひと・まち・みどりの景観計画」の策定(平成23年)から10年を迎えることなどから、景観審議会において改定の方向性について議論を行ったほか、景観資源の登録手続きを着実に進めた。
 - 防衛施設周辺整備全国協議会、埼玉県基地対策協議会を通して米軍所沢通信基地の返還を要望した。

- ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
 - 旧暫定逆線引き地区や土地利用推進エリアにおける市街化区域編入等の都市計画手続きは、県による都市計画の見直しに合わせて進められるが、このスケジュールが当初の見込みより遅れているため、土地利用転換の達成地区数が未達成となった。
 - 基地返還に関する要望実施件数の目標未達成は、新型コロナウイルス感染症の影響で、所沢市基地対策協議会が通常の活動をできなかったことが一因である。

今後の方向性

◆「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

- 旧暫定逆線引き地区のうち市街化区域編入を目指す下安松東地区、上安松・下安松西地区、産業系土地利用を進める三ヶ島工業団地周辺地区、関越自動車道所沢IC周辺地区について、関係機関との協議や地権者による準備組合などへの支援を行う。
- 景観審議会での議論を踏まえ、景観計画の改定に向けて、色彩基準の更新、新たな景観ゾーンや景観拠点の創設、大規模倉庫等に対する新たな色彩基準等の創設等について、検討を進める。
- 米軍所沢通信基地の全面返還の早期実現を目指して、今後も引き続き要望活動を行う。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

- 施策の満足度向上については、令和2年3月に策定した都市計画マスタープランに基づき、コンパクト・プラス・ネットワークの街づくり等に向けた施策展開を進める。
- 土地利用転換の達成に向け、下安松東地区・三ヶ島工業団地周辺地区については令和4年度内の市街化区域編入を目指し、引き続き関係機関との協議を行う。
- 米軍所沢通信基地の返還要望については、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、所沢市基地対策協議会と調整しつつ進めていく。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	レ 11 住み続けられるまちづくりを
レ 3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	レ 15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に
レ 8 働きがいも経済成長も	17 パートナリシップで目標を達成しよう
レ 9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R3.7.30	記入者職氏名	経営企画部次長 井上 典 街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部都市計画担当参事 佐藤 雅 街づくり計画部土地利用推進担当参事 下川原 優一
-----	---------	--------	--

第2節	市街地整備							
関係所属	市街地整備課、所沢駅西口区画整理事務所、都市計画課、建築指導課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「市街地整備」 所沢駅周辺をはじめとしてにぎわい創出に向けた整備が進んでいる			1,070	42.2%	345	13.6%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	所沢駅の1日平均乗降客数		人	102,732	107,000	78,002	×	114,000
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-2-1	所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進	事業地区を含む周辺の居住人口(御幸町・東町・日吉町・東住吉)	人	6,594	7,437	7,207	×	7,800
6-2-2	安心・安全に暮らせるまちづくりの推進	土地区画整理事業による防災性能の向上を進める面積	ha	169.1	210	220.9	○	290
6-2-3	市街地整備の適正な誘導(良質な市街地整備の推進)	地区計画・建築協定等の策定地区数	地区	37	40	39	×	44
節の基本方針への取り組み状況								
◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り								
<p>○所沢駅西口土地区画整理事業において、権利者から移転等の協力を得て安心・安全な道路整備などを進めた。</p> <p>○所沢駅西口の回遊性の向上を目指した歩行者ネットワークの一環として、ワルツ所沢北側の歩行者デッキと所沢駅西口北街区とを結ぶ歩行者デッキを整備した。また、県道久米所沢線の歩道の一部を拡幅整備した。</p> <p>○鉄道を立体交差する所沢駅ふれあい通り線について、鉄道事業者である西武鉄道株式会社と協力して道路の設計を行った。</p> <p>○パブリック空間を活用した所沢駅周辺の賑わいと回遊性の創出を目的とする都市拠点土地利用デザイン推進事業については、関係者へのヒアリングやエリアの特性を把握するための現地調査を行った。</p> <p>○北秋津・上安松土地区画整理事業や若松町土地区画整理事業については、地権者の組合による道路や調整池などの公共施設の整備に対する支援などを行った。</p> <p>○旧暫定逆線引き地区である下安松東地区、土地利用転換を目指す三ヶ島工業団地周辺地区については、市街化区域編入と合わせて防火・準防火地域や地区計画の指定がなされるよう、関係機関との協議を行った。</p> <p>○地区計画については、住民で構成される協議会に対して街づくりアドバイザーを派遣し、勉強会を開催するなどの支援を行った。</p>								
◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析								
<p>○所沢駅の1日平均乗降客数が目標値を大きく下回った大きな要因は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる。</p> <p>○地区計画については、新型コロナウイルス感染症の影響などにより協議が進まず合意形成に時間を要していることから、新たな指定に至らなかった。</p>								
今後の方向性								
◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容								
<p>○都市拠点土地利用デザイン推進事業において意見交換会や勉強会の実施によってステークホルダーの相互理解を深め、「所沢駅周辺グランドデザイン」を策定するとともに、社会実験の実施や官民連携体制の構築に向けた取組を進める。</p> <p>○旧暫定逆線引き地区のうち市街化区域編入を目指す地区や土地利用推進エリアでは、各地区の特性に応じた防火・準防火地域及び地区計画を指定していく。</p> <p>○地区計画等については、地域の協議会に対して案の作成を支援し、必要な手続きを進める。</p> <p>○計画的な土地利用を誘導するための所沢駅西口土地区画整理事業を推進する。</p> <p>○所沢駅周辺の賑わいの創出に寄与する回遊性の向上に向け、歩行者ネットワークを整備する。</p> <p>○所沢駅東西市街地の一体化や駅周辺の交通渋滞の緩和を目的とした所沢駅ふれあい通り線の築造を進める。</p>								
◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容								
<p>○所沢駅西口のまちづくりを着実に進めることによって、今後、居住人口や来街者、乗降客数の増加を図っていく。</p> <p>○所沢駅西口については、人を中心とした駅前広場のあり方を検討する。</p> <p>○地区計画等については、引き続き、地域の協議会に対して街づくりアドバイザーの派遣などの支援を行っていく。</p>								

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに	レ	11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に	レ	15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
レ	8 働きがいも経済成長も	レ	17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R3.7.30	記入者職氏名	街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部都市計画担当参事 佐藤 雅 街づくり計画部土地利用推進担当参事 下川原 優一 街づくり計画部建築指導担当参事 保坂 貞夫 街づくり計画部所沢駅西口区画整理担当参事 工藤 順一

第3節	道路
関係所属	建設総務課、道路建設課、計画道路整備課、道路維持課

施策に対する市民満足度・要望度 （「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果）※回答数：2,537人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「道路」 所沢市内の道路環境は整備されている	765	30.2%	602	23.7%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	充実した道路環境を要望する人の割合	%	56.2	現状値未滿	23.7	○	現状値未滿

事業目標の達成状況								
基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値	
6-3-1	道路整備の推進	都市計画道路の整備状況	%	70.5	→	72.2	—	72
6-3-2	幹線道路の建設推進	幹線道路(バイパス)の整備状況	m	0	→	433	—	1,679
6-3-3	生活道路の整備推進	生活道路拡幅整備延長	m	—	→	1,131	—	4,000
6-3-4	歩行者・自転車環境の整備推進	自転車レーンの整備延長	m	770	5,907	5,525	×	12,294
6-3-5	道路環境の維持	橋りょう長寿命化修繕の箇所数	橋	2	1	1	○	1

節の基本方針への取り組み状況

◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
 ○自治会等からの要望を基に、歩行者の安全性及び交通の利便性等の向上を図るため、令和2年度は市道1-544号線外5路線、合わせて約1,064mの拡幅整備を行った。また、CJF周辺道路整備事業において、市道2-561号線及び市道2-996号線について約67mの交差点改良工事を行った。
 ○昨年度に引き続き、東所沢中央通り線の1.088mにおいて歩道の安全を高める、自転車レーン整備を実施した。
 ○県施行による都市計画道路飯能所沢線の建設促進を図った。
 ○都市計画道路北野下富線、松葉道北岩岡線の用地取得並びに工事を進めた。
 ○北野下富線3工区の延長862mの区間について、令和2年12月19日に供用を開始した。
 ○橋りょう長寿命化修繕計画に基づき桜淵橋の修繕工事を実施したほか、小手指陸橋のボルトの交換工事及び西ヶ谷戸橋外4橋の修繕工事のための詳細設計の実施等、橋りょうの維持管理に努めた。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
 ○材料や労務単価が想定以上に上昇したことにより目標の施工延長に達しなかった。

今後の方向性

◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
 ○通学路の安全性の向上を図るため、自治会等からの要望を基に通学路の歩道整備及び拡幅整備を進める。
 ○本市外環状道路の一路線として位置付けた「都市計画道路北野下富線」について、早期の全線開通に向け道路工事等の整備、並びに未取得地について権利者との用地交渉を進める。
 ○本市と狭山市を結ぶ「都市計画道路松葉道北岩岡線」について「都市計画道路北野下富線」の一部と合わせた開通を目指し整備を進める。
 ○歩道内における歩行者と自転車の接触事故軽減を目的に自転車レーンを整備し、安心して安全な道路空間を創出する。
 ○法定定期点検の結果に基づき、対象となる橋りょうを最優先に、予防保全の観点から修繕工事を実施していく。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
 ○事業進捗に大きな影響が懸念される材料や労務単価の変動を考慮し上昇などを想定して計画を設定する。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	レ 11 住み続けられるまちづくりを
レ 3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	レ 16 平和と公平をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
レ 9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R3.7.30	記入者職氏名	建設部次長 遠藤 弘樹 建設部道路建設担当参事 吉田 進一
-----	---------	--------	----------------------------------

第4節	交通政策							
関係所属	防犯交通安全課、都市計画課							
施策に対する市民満足度・要望度 （「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果）※回答数：2,537人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「交通政策」 所沢市は鉄道・バス路線が充実していて出掛けやすい			1,044	41.2%	469	18.5%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	交通について不便と感じる人の割合		%	—	43	18.5	○	35
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-4-1	交通政策の推進と公共交通の充実	市内の地域公共交通(バス)年間利用者数	千人	10,734	10,764	7,493	×	10,804
6-4-2	鉄道輸送の利便性向上	市内の鉄道駅の1日あたりの合計乗降客数	千人	413	421	304	×	429
6-4-3	駅の安全性・利便性の向上	西所沢駅西口改札口開設事業の進捗度	—	—	設計	協議中	×	R5で開設
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○新たな公共交通であるところワゴン(乗合ワゴン)の三ヶ島地区における実証運行に向けて地域との協議を進め、運行ルートを確定して運行体制を整備した。</p> <p>○ところバスの運行ルートについて、ところワゴンの三ヶ島地区における実証運行を踏まえた見直しに向けて、検討を進めた。</p> <p>○「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、練馬区及び所沢市で構成)」において、各市の取組状況について情報交換を行うとともに、埼玉県及び東京都に対して要望活動を実施した</p> <p>○西所沢駅西口開設については、改札口の整備に向けて鉄道事業者と協議を重ねるとともに、改札口予定地から県道までの拡幅用地の一部の用地取得を行った。</p>								
<p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○地域公共交通(バス)と鉄道の利用者数が目標値を大きく下回った大きな要因は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる。</p> <p>○西所沢駅西口開設については鉄道事業者と基本協定が締結できなかったため、基本設計に着手できなかった。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○地域にとって望ましい旅客運送サービスの姿を明らかにするため、地域公共交通のマスタープランとなる地域公共交通計画を令和3年度から2か年で策定する。</p> <p>○ところワゴンについては、令和3年度から開始している三ヶ島地区の実証運行の周知を図るとともに、効果検証を行う。また、柳瀬地区・富岡地区における令和4年度の実証運行の開始に向けて地域住民との調整やアンケート調査等を行い、運行ルートの確定や運行体制の整備を進める。</p> <p>○ところバスについては、ところワゴンの実証運行を踏まえた運行ルートの見直しを行うほか、利用実績やアンケート調査等を踏まえ、抜本的な見直しに向けた検討を進める。</p> <p>○西所沢駅西口開設については、改札口の整備に向けた鉄道事業者との基本協定を早期に締結するとともに、開設に向け、駅前広場等の周辺整備を含めた調査・設計等の作業を進める。</p>								
<p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○公共交通については令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少が予想されるが、引き続き、地域の方が利用しやすい地域公共交通ネットワークの充実・整備を進める。</p> <p>○西所沢駅西口開設に関する基本協定の早期締結に向け、鉄道事業者と協議を行う。</p>								

SDGsへの貢献	
1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	レ 11 住み続けられるまちづくりを
レ 3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
レ 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公平をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
評価日	R3.7.30
記入者職氏名	市民部次長 田中 政美 街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部都市計画担当参事 佐藤 雅

第5節	水道							
関係所属	総務課、経営課、給水管理課							
施策に対する市民満足度・要望度 （「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果）※回答数：2,537人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「水道」 所沢市は安全な水を安定して供給している			1,639	64.6%	235	9.3%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	水道事業に関する施策の満足度		%	-	100	64.6	×	100
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-5-1	経営基盤の強化	資産の有効活用による収益額	万円	—	1,127	1,270	○	1,369
6-5-2	水資源の確保と有効利用	地下水の揚水量	万 ³ m/年	412	350	428	○	350
6-5-3	安全な水の安定供給	配水池の耐震化率	%	71.7	93.5	87	×	100
6-5-4	更新需要と財政収支のバランスのとれた計画の実践	経常収支比率	%	110	110	97.4	×	110
節の基本方針への取り組み状況								
◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り								
<p>○未利用地(旧水道庁舎跡地)の貸付けを行うとともに、長期的債券(JICA債・TICAD債)による運用や定期預金を一般会計と共同運用すること等により自主財源を確保に努めた。</p> <p>○50年先の将来まで見通す長期計画「所沢市水道ビジョン」とこれを実現する10年間の中期計画「水道事業経営計画」を令和3年3月に策定した。</p> <p>○全国の水道事業体で初となる紙パック入り地下水「ところざわの水」を18,000本製造、「市制施行70周年記念」と冠し、良質な水道水をPRすることを目的に、所沢ブランド特産品販売協力店等で販売した。(完売)</p> <p>○安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築するため、水道管を1,827m布設し、18,755mを更新するとともに、第一浄水場浄水池の耐震工事が完了した。</p> <p>○地下水の揚水量については、例年より梅雨明けは遅かったものの、その後、気温38℃を超える猛暑となったことや、新型コロナウイルス感染症への対策で、市民が外出を控え、各家庭での在宅率が上がったことにより、水の使用量が増加したこと等が揚水量の増加につながった。</p>								
◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析								
<p>○施策の満足度については未達成ではあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による市民生活等への影響を踏まえ、全ての水道利用者への経済的な支援策として2か月分の水道料金を免除した取り組みや、水道用の次亜塩素酸ナトリウム水溶液を使い、店頭では入手しづらかった消毒液を作成、高齢者福祉施設や市民等に無料配布したこと等により、昨年度から大幅に上昇(61.0%→64.6%)し、市民満足度の施策順位は第1位と、高い評価が得られた。</p> <p>○配水池の耐震化率については、西部浄水場2号配水池の耐震補強工事を令和2年度の単年度工事で計画していたものが、実際には令和3年度まで2か年の継続事業となったことにより未達成となった。</p> <p>○経常収支比率については、経済的な支援策として2か月分の水道料金を免除したことの影響により赤字を計上、未達成となった。</p>								
今後の方向性								
◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容								
<p>○持続可能な水道の事業経営を目指し、安全で良質な水道水を安定して供給するため、計画的な財源確保のもと、水道管の布設・更新工事、配水池等の耐震工事などを進め、強靱な水道を構築する。</p>								
◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容								
<p>○満足度については、局の広報紙等による情報発信を引き続き行い、事業に対する市民の理解を深めるとともに、各事業を確実に実施することで数値のさらなる向上を目指す。</p> <p>○配水池の耐震化率については、継続事業となった西部浄水場2号配水池の耐震補強工事が完成することで、令和3年度の目標値95%の実現を目指す。</p> <p>○経常収支比率については、水道料金の免除の影響が無くなるため改善する見込みであるが、自主財源の確保を確実に進めるなど引き続き、経営努力を行っていく。</p>								

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに	レ	11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
レ	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
レ	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
レ	8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
レ	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R3.7.30	記入者職氏名	上下水道局次長 磯 稔 上下水道局水道建設担当参事 松山 幹明

第6節	下水道								
関係所属	総務課、下水道維持課、下水道整備課								
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,537人		満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度				
「下水道」 生活環境面で下水の処理に満足している		1,456	57.4%	220	8.7%				
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	下水道事業に関する施策の満足度		%	—	100	57.4	×	100	
事業目標の達成状況									
基本方針		事業目標		単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-6-1	自主財源の確保	有料広告用デザイン入りマンホール蓋の設置箇所数(累計)		箇所	10	30	61	○	70
6-6-2	生活環境の改善と公共用水域の水質保全	下水道普及率		%	93.7	94.4	94.5	○	94.8
6-6-3	災害に強い下水道整備の推進	道路雨水樹の浸透化数(累計)		箇所	—	360	360	○	840
6-6-4	下水道施設の計画的な老朽化対策	下水道管渠の更生・布設替工事延長(累計)		m	214	870	1,181	○	3,728
節の基本方針への取り組み状況									
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国初のイルミネーション・マンホール蓋(夜間発光)28基を広告媒体として設置(株)KADOKAWAと契約締結し、自主財源の確保に努めた。 ○「第1次市街化調整区域下水道計画」に基づき、第4期整備事業として污水管を1,935m布設した。 ○災害に強いライフラインを構築するため、人孔9か所の耐震化工事を行った。 ○市内各所で発生している内水被害を軽減させるため、既存の雨水樹120か所を浸透化した。 ○計画的な施設の点検・調査及び修繕・改築を行う「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、下水管の布設替を93m、更生を289m、管内カメラ調査を30km行った。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活環境面での下水道整備を現在進めていることから、施策の満足度は昨年度と比較し上昇しており(56.0%→57.4%)、取り組みは一定の評価が得られた。 									
今後の方向性									
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活環境の改善と公共用水域の水質保全に貢献するため下水道整備を進めるほか、下水道施設の耐震化や老朽化対策に取り組むとともに、大雨による浸水被害の軽減対策を進める。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下水道に関する満足度がさらに上昇となるよう、各事業の実施に向け取り組む。 									
SDGsへの貢献									
1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう						
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを						
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任						
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を						
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう						
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう						
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公平をすべての人に						
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう						
9	産業と技術革新の基盤を作ろう								
評価日	R3.7.30	記入者職氏名	上下水道局次長 磯 稔 上下水道局下水道整備担当参事 根岸 清						

第7節	住宅・住環境
関係所属	都市計画課、建築指導課、市街地整備課

施策に対する市民満足度・要望度 （「令和2年度所沢市市民意識調査」の結果）※回答数：2,537人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「住宅・住環境」 地域の街並みなどの住環境に満足している	1,204	47.5%	309	12.2%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
	住宅・住環境に関する施策の満足度	%	—	66.5	47.5	×	68.5

基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R2年度目標値	R2年度実績	達成状況	R6年度目標値
6-7-1	安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進	長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数	件	280	250	251	○	250
6-7-2	適正な公営住宅の管理・運営	市営住宅の入居戸数	戸	773	779	697	×	787
6-7-3	住生活の安定と質の向上	マンション管理無料相談会における相談受付件数	件	19	28	18	×	42

節の基本方針への取り組み状況

- ◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
- 長期優良住宅228件及び低炭素建築物23件の計251件について認定を行い、目標値を達成した。
 - 住宅等の耐震化を図るため、一戸建て住宅の耐震診断4件及び耐震改修2件のほか、制度開始から初となる分譲マンションの耐震改修1件に対して補助金を交付した。
 - 危険なブロック塀を撤去し改善を図るため、工事に要する費用の一部について補助金を交付した（撤去のみ8件、撤去＋軽量フェンス等築造11件）。
 - 市営住宅の家賃について、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う急激な収入減少を理由とする減免制度を新設した（22世帯、延べ118か月分、減免額約186万円）。
 - 市営住宅退去者の家賃等の滞納について、回収が極めて困難である事案の情報を整理し、今後の事務処理の進め方を検討した。
 - マンション管理無料相談会やセミナーの開催、管理組合登録制度の周知を行った。
- ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
- 市営住宅の新規入居は、退去した住戸を速やかに修繕して次期の募集を行うことにより住戸を確保することができるが、老朽化した建築物が多く一戸当たりの修繕費用が高くなる傾向があることなどから、新規募集に充てられる住戸数が前年度を上回ることが難しくなっている。
 - 住宅・住環境に関する施策の満足度の未達成については様々な要因が考えられるが、要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響により、広い住まいのニーズが高まっていることなども考えられる。
 - マンション管理無料相談会は年間6回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2回を中止したことなどから、相談件数が目標値に達しなかったものと考えられる。

今後の方向性

- ◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
- 耐震化が進んでいない分譲マンションや緊急輸送道路沿道の建築物等について、建物所有者への働きかけを引き続き行い、意識啓発を図る。
 - 市営住宅については令和3年度に所沢市営住宅等長寿命化計画を改定し、国庫補助金を活用しながら可能な限り既存ストックの有効活用を図る。加えて、令和4年度からは、建て替えや他の公共施設との複合化も含めた将来的な方向性について検討を開始する。
 - マンション管理の適正化に向けて令和3年度に分譲マンションの管理状況について実態調査を実施し、管理組合に対して管理状況の届出を義務付ける条例を制定することにより、支援が必要なマンションの把握を進めていく。
 - 令和3年度にマンション管理適正化推進計画を制定し、令和4年度から管理計画認定制度を実施するとともに、管理組合を支援する専門家の派遣事業を検討していく。
- ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
- 施策満足度の向上については、ニューノーマルの生活様式に対応した住環境の整備を推進するとともに、近年増加傾向にあるマンションの管理の適正化を図るための施策を進める。
 - 市営住宅の管理を委託している埼玉県住宅供給公社と連携して修繕の内容や費用等を見直し、退去後の修繕を速やかに行うことにより入居戸数を増やす。
 - マンション管理無料相談会については、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が予想されるが、実態調査の際に併せて周知を図るなど、管理組合への働きかけを行っていく。

SDGsへの貢献			
レ	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに	レ	11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を	レ	12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
レ	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
	8 働きがいも経済成長も	レ	17 パートナースhipで目標を達成しよう
レ	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R3.7.30	記入者職氏名	街づくり計画部次長 畑中 武 街づくり計画部都市計画担当参事 佐藤 雅 街づくり計画部建築指導担当参事 保坂 貞夫